

2 需要に応じた生産を促進するに当たって留意すべきと考えられる事項等について記載

・自給率向上・農地保全の観点からは、消費県であっても、生産量が際限なく減少することは好ましくない。

・基本方針における需要実績算出方法では、生産量・在庫の前年比により算出するため、消費の状況が考慮されない。消費県では生産量が需要量を下回る状況にありながら米が作れないという状況にあることを考慮し、消費量を要素に加えて、作付可能数量を算出し、特に消費県の需要実績の算出にあたっては、この量を最低限確保したうえで需要実績を算出するようお願いしたい。

算出の方法は次のとおり。

需要量と生産量の乖離（ただし生産量<需要量の場合のみ）是正のため、水田作付可能数量を上限として、補正消費量を需要実績に加算する。

※補正消費量＝消費量に定数を乗じて算出（定数は需要量と生産量の乖離状況により数段階を設定）

※水田作付可能数量＝（水稻作付面積＋転作作物（永年作物を除く）作付面積）
×単収

上記により算出した量を最低限確保のうえ需要実績を算出するよう要望する。

1 各都道府県産米の需要見通しの策定に当たって

(1) 平成15年産米の需要実績の扱いをどうすべきか

① 地域別に作柄が大きく異なることをどう考えるか

○ 作柄の年次変動は、適正な需給見通しの策定に影響があることから、作柄の補正を行うことが必要。

② 政府備蓄米販売数量の増加により、古米の需要実績の割合が高いことをどう考えるか

○ 需給実績に、政府備蓄米（古米を含む）もカウントすべきである。

なお、米の需給調整機能は、国しかできないことから、年間の販売限度量を定める等、計画的な販売が必要。

(2) (1) を踏まえて、各都道府県産米の需要予測をどのようにして算定すべき等について記載

○ 〇〇における安定的な米生産を推進するため、作柄補正を行った上で直近2ヶ年平均の生産量をベースに算定すべきである。(16年産の範囲と同様)

～ 作柄補正の算式例 ～

年産生産量×(100/作況)

－ {(当年産生産量×(100/作況)×翌年6月在庫率)－翌年6月末実績在庫}

2 需要に応じた生産を促進するに当たって留意すべきと考えられる事項等について記載

○ 水田農業経営の持続的な発展や担い手のため、安定的な作付けが必要なことから需給環境を考慮しつつ、中長期的視点に立った生産目標の設定。

○ 水稻作付け面積の的確な把握と確認事務を簡素化するため、国段階において水田ベースマップ等と連動し衛星写真を活用した確認システムの構築。

1 各都道府県産米の需要見通しの算定に当たって、

(1) 平成15年産米の需要実績の扱いをどうすべきか

① 地域別に作柄が大きく異なることをどう考えるか

ア 昨年の冷害により、本県の15年産米の作況指数は53となり、全国で最も低い数値となった。これは、主に7月中・下旬の異常低温により障害不稔が多発したためである。

イ 冷害に限らず、大雨や干ばつなど、農業者の営農努力によっても克服できない自然災害は、全国どこにでも起こり得るもの。このような場合に備えて、政府備蓄米の制度もあるはず。

ウ 生産調整を真面目に実施し、売れる米づくりに取り組んでいる農家に、冷害で収穫量が減少したからといって生産目標数量を減じることは、今後の取組意欲を失わせるようなもの。

エ 15年産米の都道府県別の需要実績は、販売努力の結果というより、収穫量による格差が大きかったため、自然災害による影響を排除し、平年作であった場合の需要ベースを見込むことが必要と考える。

② 政府備蓄米販売数量の増加により、古米の需要実績の割合が高いことをどう考えるか

ア 政府備蓄米の販売数量が増加したことで、低価格米にも一定の需要があることが実証された。

イ 政府備蓄米は、自然災害などの不測時における米の安定供給の役割を担うものであり、一般米とは性格が異なる。

ウ 平成8年産米や平成9年産米など、米政策改革以前に買い入れられた米が、各都道府県の販売努力も生かされないまま、たまたま販売されたからといって15年産米の都道府県別の需要実績に組み入れられることには疑問がある。

ウ 政府備蓄米の販売数量は、全国ベースで需要実績をみる場合にはこれまでどおりの扱いで良いが、各都道府県別の需要実績に反映させる場合には、大綱の趣旨を踏まえて買入・販売方法が改められた16年産米以降の数量に限定するか、買い入れた時点で、その買入数量を反映させることが必要と考える。

(2) (1)を踏まえて、各都道府県産米の需要予測をどのようにして算定すべきか

ア 米の生産調整では、転作の強化や緩和を繰り返すことによって、現場での推進上、多大な困難に直面した経験があることから、都道府県別の生産目標数量はできるだけなだらかに推移することが望ましい。

イ 都道府県別の需要実績などのデータの振れは、全国ベースよりも大きくなりがちであることから、生産目標数量算定の基礎になる都道府県産米の需要見通しの算定に当たっては、上記(1)の作柄の補正や、政府備蓄米の取扱いの変更を行った上で、年次間の生産目標数量の変動が少なくなるよう、需要実績の直近2か年又は3か年の単純平均とするべき。

2 需要に応じた生産を促進するに当たって留意すべきと考えられる事項等

○ 取組みを実効あるものにしていくためには、多くの農業者の参加が必要であることから、豊作時に区分出荷を行う「集荷円滑化対策」への加入状況や拋出状況などの要素を加味するべき。

○ 豊作時の区分出荷を円滑に進めるため、作況指数は固定した暦日で公表するのではなく、水稻の生育状況に応じて前倒しするなど、柔軟に行うべき。

1 各都道府県産米の需要見通しの算定にあたって

(1) 平成15年産米の需要実績の扱いをどうすべきか

- ① 需要実績に基づくシェアの算定に当たっては、昨年の政府備蓄米市場放出の影響を考慮すること。

本県の全農扱いの15年産米（主食用うるち）については、7月中旬で15年産米の販売計画数量である115,208トン全量が売買契約済みとなった。

しかし、売買契約は行ったが、現物が県内等の倉庫に保管されている未引取量は、昨年同期の未引取量を大きく上回っている。

その要因として、15年9月以降、15年産米が作柄不良に伴う品薄感から高騰し、その沈静化を図るため、安価な政府備蓄米（99万ト）が市場に放出され、値頃感のあるブレンド米として販売された結果、15年産米の流通在庫（卸、小売段階の在庫）が昨年度より増加しているものと考えられる。

また、本県のような国民に通年にわたって平準的に安定供給する主産地が早期に供給を完了する産地に比較して、不利になることのないような在庫量の算定方法とすること。（政府備蓄米の供給数量・時期に応じた補正など）

- ② 平成15年産米の作柄に配慮すること。

作柄が「著しい不良」となった道県では供給量（生産量）そのものが平年を大きく下回っており、需要量の算定にあたって、作柄の程度が配慮されないと、平年に比較して需要量が低く評価されることになる。

平年作であった14年産米は全量販売しており、平成15年産米についても、上記①のような政府備蓄米の大量放出がなければ、14年産米と同程度の需要が見込まれたものである。

(2) (1)を踏まえて、各都道府県産米の需要予測をどのようにして算定すべきか。

平成15年産米の作柄が不良となった道県においては、平成15年産米需要実績が大きく減少することから、上記(1)の補正を行ったうえで、平成17年産米の都道府県の需要見通しの算定は、平成16年産米の目標数量との変動を最小限にとどめ、生産現場の混乱を回避することが必要である。

そのため、ある程度長期のデータが反映される2年移動平均による算出が妥当であると考えられる。

2 需要に応じた生産を促進するに当たって留意すべきと考えられる事項等について記載

- (1) 政府備蓄米の適正水準を確保するとともに、主食用として消費者の信頼を得られ、かつ、主食用米の需給調整が適正に行われる回転備蓄の仕組みを確立すること。

当面、現下の主食用米の需給バランスの回復を図る観点から、政府備蓄米の適正水準確保に必要な主食用米の買入を早期に行うこと。

- (2) 都道府県別産米の需要動向の把握と同様に都道府県別の生産実績の確実な把握
- (3) 生産目標数量を超過した（生産目標数量相当面積を超過する作付け）都道府県に対する生産目標数量の配分ルールの明確化（次年産生産目標数量から前年産生産目標数量超過数量の削減等）

併せて、生産目標数量を遵守した都道府県に対する優遇措置

- (4) 米の需要拡大を図るための国民に対する理解の醸成を図るための更なる取り組みの強化

平成17年産米の都道府県別の生産目標数量の設定の考え方等について

〇〇〇

1 各都道府県産米の需要見通しの算定に当たって

(1) 需要見通しをどのようにすべきかの前提について

都道府県別の需要見通しをたてるにあたっての前提については、本県の前年の意見を踏まえ以下のとおり整理した。

①算定に必要な年数は偶数年とする

：過去の需要実績は波をうつ場合が多いことから、短期データを用いる場合には偶数年とする（前年資料参照，P1 2の1）。

②算定年次によって推定需要量が乱高下する算定方法としない

：年次間の作付け面積が大きく変動することは産地指導上の問題が多い。算定年によって、過去の年次の需要量が加算されたり減算されるような算定式の場合には推定需要量が乱高下する（2年平均移動法等）

（前年資料参照，P1 1の1），P2 2の3）。

③実績をもとに算定を行う

：今後の取組計画については、次年度以降に需要実績として結果に反映されるべきものとする。

④過去の需要量に影響を及ぼした条件を可能なかぎり補正を行う

：生産調整の達成率，作況指数については公平性の点から補正を行う。

過去の生産調整率を平準化する算定については、歴史的な経緯があり、平準化した場合には現状の生産状況と大きく乖離し、生産現場が混乱する。

（一部前年資料参照，P2 1の①②③）

(2) 平成15年産米の需要実績の扱いをどうすべきか

①上記(1)の④に基づき、作況指数を各都道府県について100まで補正して需要量を算定すべきである。作柄不良地域については、「必ずしも適地ではないのではないか」という議論もあるが、米産県の適地・不適地については市場の反応により、将来の結果として需要実績に反映されるべきものである。

②15年の政府米販売数量については、特例的に需要実績から除くべきである。特に米不足の情報のなかで急遽販売された政府米については県産別の需要実績とは考えにくい。

(3) 各都道府県産米の需要予測について

上記(1)及び(2)の観点から以下のとおり整理した。（参考資料1の①，②，③）

①平成12年産米から平成15年産米までの全国需要量に対する各年の各都道府県需要比率の平均値に平成17年の全国需要予測量（851万ト）を乗じたものとする。

②各年の需要実績については、生産調整の達成率による水稻作付け面積の過不足分の補正、及び各年の作況指数を100に補正する。

・補正後の需要量＝（補正前の民間需要量×生産調整達成率による補正×作況補正）
＋政府米の販売数量

平成12年，13年，14年については上式とし、平成15年は政府米の販売数量を加算しない（上記(2)の②）

・各年の上記補正後の需要量の合計値に対する、各県の補正需要量の比率をもって4年間の平均値をとる。この平均値に平成17年産米予測需要量である851万トを乗ずる。

③上記①，②により平成17年度以降も同様に算定を行う。平成15年を特異年として算定から除外した場合には、平成11～14年産を用いることになるが、偶数年の原則に従えば、平成18年産米の予測についても平成11～14年産米実績を用いることになってしまう。

2 需要に応じた生産を促進するに当たって留意すべき事項について

・上記，1の(1)の②及び(2)の①について留意すべきであり、生産現場が円滑に対応できる手法で数量配分を行う必要がある。

参考資料1の1

生産調整達成率及び作況の補正しない場合の県別需要量比率と17年産米需要量算定

全国	11年産	12年産	13年産	14年産	15年産	14~15 年平均の 比率①	12~15 年平均の 比率②	①による 需要量 (千トン)	②による 需要量 (千トン)
	需要量比率								
北海道	0.06854	0.071601	0.064747	0.066936	0.065995	0.066466	0.06732	565.6	572.9
青森	0.03632	0.036118	0.030814	0.030036	0.026306	0.028171	0.030818	239.7	262.3
岩手	0.03903	0.035552	0.033451	0.037654	0.030863	0.034258	0.03438	291.5	292.6
宮城	0.051616	0.048924	0.041716	0.048727	0.040739	0.044733	0.045027	380.7	383.2
秋田	0.05454	0.066768	0.061364	0.057308	0.061103	0.059206	0.061636	503.8	524.5
山形	0.050188	0.045131	0.042869	0.049814	0.048643	0.049228	0.046614	418.9	396.7
福島	0.052793	0.044024	0.047955	0.05212	0.044501	0.04831	0.04715	411.1	401.2
茨城	0.04325	0.045319	0.044509	0.045562	0.044639	0.045101	0.045007	383.8	383.0
栃木	0.036468	0.043332	0.039969	0.040338	0.042435	0.041387	0.041519	352.2	353.3
群馬	0.011168	0.010772	0.009906	0.00998	0.012968	0.011474	0.010907	97.6	92.8
埼玉	0.020436	0.018736	0.020583	0.018562	0.02191	0.020236	0.019948	172.2	169.8
千葉	0.036158	0.037697	0.037511	0.035117	0.035363	0.03524	0.036422	299.9	309.9
東京	0.000114	0.000107	0.000115	9.87E-05	0.000115	0.000107	0.000109	0.9	0.9
神奈川	0.001876	0.001676	0.001943	0.001706	0.001938	0.001822	0.001816	15.5	15.5
新潟	0.064591	0.071061	0.073527	0.075184	0.07451	0.074847	0.073571	636.9	626.1
富山	0.023887	0.025603	0.023095	0.026261	0.02514	0.025701	0.025025	218.7	213.0
石川	0.015058	0.015034	0.016398	0.015996	0.015576	0.015786	0.015751	134.3	134.0
福井	0.016708	0.0156	0.016926	0.017109	0.015818	0.016463	0.016363	140.1	139.3
山梨	0.003597	0.003324	0.003478	0.003335	0.003334	0.003334	0.003368	28.4	28.7
長野	0.026508	0.02445	0.025572	0.026327	0.025429	0.025878	0.025444	220.2	216.5
岐阜	0.014538	0.014159	0.015226	0.013866	0.015645	0.014756	0.014724	125.6	125.3
静岡	0.011393	0.010924	0.011099	0.010519	0.010338	0.010428	0.01072	88.7	91.2
愛知	0.017828	0.017239	0.018178	0.017288	0.018656	0.017972	0.01784	152.9	151.8
三重	0.019866	0.019321	0.019579	0.018308	0.017341	0.017825	0.018637	151.7	158.6
滋賀	0.022161	0.0185	0.022332	0.020425	0.020987	0.020706	0.020561	176.2	175.0
京都	0.009887	0.009439	0.010119	0.009359	0.009703	0.009531	0.009655	81.1	82.2
大阪	0.003677	0.0035	0.003725	0.003427	0.003554	0.00349	0.003552	29.7	30.2
兵庫	0.0219	0.024728	0.024433	0.022969	0.021195	0.022082	0.023331	187.9	198.5
奈良	0.005803	0.005775	0.005887	0.005497	0.006288	0.005892	0.005862	50.1	49.9
和歌山	0.004845	0.004413	0.004585	0.004287	0.004419	0.004353	0.004426	37.0	37.7
鳥取	0.009739	0.00858	0.00907	0.008834	0.008342	0.008588	0.008706	73.1	74.1
島根	0.01189	0.011802	0.012221	0.011937	0.011815	0.011876	0.011944	101.1	101.6
岡山	0.021742	0.021087	0.021261	0.019946	0.022614	0.02128	0.021227	181.1	180.6
広島	0.016301	0.016689	0.01635	0.016255	0.017053	0.016654	0.016587	141.7	141.2
山口	0.014117	0.013559	0.015496	0.013801	0.014687	0.014244	0.014386	121.2	122.4
徳島	0.008177	0.00765	0.007936	0.00751	0.00743	0.00747	0.007632	63.6	64.9
香川	0.010077	0.008161	0.009035	0.008596	0.009761	0.009178	0.008888	78.1	75.6
愛媛	0.009126	0.009307	0.00963	0.009068	0.009969	0.009518	0.009494	81.0	80.8
高知	0.006878	0.00694	0.007379	0.006809	0.006796	0.006803	0.006981	57.9	59.4
福岡	0.021762	0.021224	0.024208	0.022988	0.026467	0.024728	0.023722	210.4	201.9
佐賀	0.016199	0.01599	0.016314	0.018297	0.021229	0.019763	0.017958	168.2	152.8
長崎	0.007246	0.008091	0.008448	0.007661	0.007465	0.007563	0.007916	64.4	67.4
熊本	0.021529	0.021557	0.025952	0.024096	0.026156	0.025126	0.02444	213.8	208.0
大分	0.013819	0.01488	0.016051	0.015207	0.01673	0.015968	0.015717	135.9	133.8
宮崎	0.012436	0.011368	0.013274	0.011169	0.012484	0.011827	0.012074	100.6	102.7
鹿児島	0.0138	0.013901	0.015415	0.013339	0.01516	0.014249	0.014454	121.3	123.0
沖縄	0.000416	0.000387	0.000348	0.000372	0.000392	0.000382	0.000375	3.3	3.2
	1	1	1	1	1	1	1	8510	8510

参考資料1の4

三産調整達成率及び作況の補正後の県別需要量比率と17年産米需要量算定
(平成15年の政府米分を足し込み)

	12年		13年		14年		15年		12～15年平均 需要量比率	14年、15年 平均需要量 比率	①による需 要量	②による需 要量
	総合調整 需要量 (千トン)	補正後需要 量比率	総合調整需 要量	補正後需要 量比率	総合調整需 要量	補正後需要 量比率	総合調整需 要量	補正後需要 量比率				
全国											851万トン (千トン)	851万トン (千トン)
北海道	653.2	0.07289	565.6	0.067031	673.3	0.076121	752.5	0.078067	0.073527	0.077094	625.7	656.1
青森	326.1	0.036389	269.0	0.031875	279.1	0.031548	402.7	0.041779	0.035398	0.036663	301.2	312.0
岩手	315.1	0.035163	287.9	0.034122	344.3	0.038925	356.0	0.036926	0.036284	0.037925	308.8	322.7
宮城	434.0	0.04843	351.6	0.041668	432.4	0.048885	488.4	0.050665	0.047412	0.049775	403.5	423.6
秋田	603.4	0.067331	517.8	0.061365	522.9	0.059119	558.8	0.057967	0.061445	0.058543	522.9	498.2
山形	399.6	0.044588	364.2	0.043161	450.2	0.050897	451.8	0.046871	0.046379	0.048884	394.7	416.0
福島	384.4	0.042896	384.3	0.045545	443.6	0.050149	407.1	0.042228	0.045204	0.046188	384.7	393.1
茨城	392.2	0.043763	376.3	0.044597	399.7	0.045188	400.5	0.041546	0.043773	0.043367	372.5	369.1
栃木	381.5	0.042575	336.9	0.03992	358.1	0.040481	397.7	0.041256	0.041058	0.040869	349.4	347.8
群馬	99.5	0.011103	85.6	0.010142	89.0	0.010065	114.0	0.011823	0.010783	0.010944	91.8	93.1
埼玉	168.0	0.018743	174.9	0.020732	170.2	0.019237	199.1	0.020651	0.019841	0.019944	168.8	169.7
千葉	304.6	0.033993	295.2	0.034987	104.5	0.011813	296.9	0.030799	0.027898	0.021306	237.4	181.3
東京	1.0	0.000117	1.1	0.00013	1.0	0.000115	1.3	0.000131	0.000123	0.000123	1.0	1.0
神奈川	15.4	0.001716	16.9	0.001997	16.1	0.00182	18.0	0.001863	0.001849	0.001842	15.7	15.7
新潟	639.4	0.071353	603.7	0.071541	653.5	0.073883	662.8	0.068753	0.071383	0.071318	607.5	606.9
富山	233.2	0.026019	194.7	0.023075	235.8	0.026655	228.1	0.023668	0.024854	0.025161	211.5	214.1
石川	140.9	0.015724	142.1	0.016843	146.3	0.016536	142.2	0.014749	0.015963	0.015643	135.8	133.1
福井	145.3	0.016218	145.3	0.017215	161.3	0.018236	148.9	0.015451	0.01678	0.016843	142.8	143.3
山梨	30.9	0.003451	29.3	0.003473	31.2	0.003528	32.3	0.003349	0.00345	0.003438	29.4	29.3
長野	222.8	0.024863	219.3	0.025984	236.7	0.026756	233.1	0.024186	0.025447	0.025471	216.6	216.8
岐阜	131.6	0.014687	130.6	0.015482	127.4	0.014407	148.5	0.0154	0.014994	0.014904	127.6	126.8
静岡	95.5	0.010653	92.9	0.011006	96.6	0.010917	95.4	0.009894	0.010618	0.010406	90.4	88.6
愛知	155.2	0.017321	153.0	0.018127	156.4	0.017679	166.8	0.017299	0.017607	0.017489	149.8	148.8
三重	166.3	0.01856	163.2	0.019338	163.4	0.018469	161.8	0.016782	0.018287	0.017625	155.6	150.0
滋賀	169.7	0.018934	191.1	0.022645	186.9	0.021131	198.7	0.020615	0.020831	0.020873	177.3	177.6
京都	86.5	0.009651	85.9	0.010182	86.5	0.00978	90.4	0.009373	0.009746	0.009576	82.9	81.5
大阪	29.8	0.003325	29.9	0.003542	30.1	0.003406	31.0	0.003217	0.003373	0.003312	28.7	28.2
兵庫	227.8	0.025417	207.0	0.024532	211.2	0.023882	196.7	0.020407	0.023559	0.022144	200.5	188.4
奈良	49.3	0.005504	47.4	0.005621	47.3	0.005345	52.5	0.005445	0.005479	0.005395	46.6	45.9
和歌山	39.6	0.004421	39.6	0.004693	39.6	0.004475	39.9	0.004137	0.004432	0.004306	37.7	36.6
鳥取	77.7	0.008667	75.8	0.008988	79.0	0.008934	83.3	0.008646	0.008809	0.00879	75.0	74.8
島根	106.8	0.011918	102.8	0.01218	107.1	0.01211	115.1	0.011936	0.012036	0.012023	102.4	102.3
岡山	187.5	0.020922	176.3	0.020894	174.5	0.019725	202.8	0.021039	0.020645	0.020382	175.7	173.4
広島	152.6	0.01703	139.2	0.01649	147.0	0.016614	156.0	0.016179	0.016578	0.016397	141.1	139.5
山口	124.1	0.013845	130.4	0.015448	128.3	0.014506	142.5	0.014779	0.014645	0.014643	124.6	124.6
徳島	67.0	0.007471	66.6	0.007897	68.5	0.007748	64.8	0.006727	0.007461	0.007237	63.5	61.6
香川	75.3	0.008404	79.3	0.009277	75.6	0.008546	89.3	0.009261	0.008872	0.008904	75.5	75.8
愛媛	86.2	0.009618	84.6	0.010022	82.9	0.009373	93.8	0.009731	0.009686	0.009552	82.4	81.3
高知	57.4	0.006404	58.1	0.006888	65.6	0.007411	55.1	0.005718	0.006605	0.006565	56.2	55.9
福岡	193.7	0.021613	205.8	0.024384	192.3	0.021741	244.5	0.025362	0.023275	0.023551	198.1	200.4
佐賀	147.3	0.016439	138.7	0.016431	168.1	0.019008	197.3	0.020464	0.018085	0.019736	153.9	168.0
長崎	74.2	0.008282	71.2	0.00844	70.8	0.008009	70.6	0.007328	0.008015	0.007668	68.2	65.3
熊本	198.3	0.022134	220.6	0.026144	219.5	0.02482	239.0	0.024789	0.024472	0.024805	208.3	211.1
大分	133.5	0.014893	135.6	0.016072	135.8	0.015354	151.7	0.015736	0.015514	0.015545	132.0	132.3
宮崎	104.8	0.011692	116.7	0.013828	102.4	0.011574	118.4	0.012278	0.012343	0.011926	105.0	101.5
鹿児島	129.5	0.014452	131.8	0.015613	130.0	0.014697	138.8	0.014394	0.014789	0.014545	125.9	123.8
沖縄	3.7	0.000416	3.7	0.000434	3.4	0.000385	3.2	0.000336	0.000393	0.00036	3.3	3.1
	8,961.3	1.0	8,438.5	1	8,845.5	1	9,639.6	1	1	1	8,510	8,510

参考資料10の3

生産調整達成率及び作況の補正後の県別需要量比率と17年産米需要量算定
(平成15年の政府米分を足しません)

	12年		13年		14年		15年		12~15年平均 需要量比率①	14、15年平均 需要量比率②	①による 需要量 (千トン)	②による 需要量 (千トン)
	総合補正需 要量	補正後需要 量比率	総合補正需 要量	補正後需要 量比率	総合補正需 要量	補正後需要 量比率	総合補正需 要量	補正後需要 量比率				
	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)				
全国											851万トン	851万トン
北海道	653.2	0.07289	565.6	0.067031	673.3	0.076121	656.1	0.076438	0.07312	0.076279	622.3	649.1
青森	326.1	0.036389	269.0	0.031875	279.1	0.031548	370.3	0.043143	0.035739	0.037345	304.1	317.8
岩手	315.1	0.035163	287.9	0.034122	344.3	0.038925	315.7	0.036772	0.036246	0.037849	308.4	322.1
宮城	434.0	0.04843	351.6	0.041668	432.4	0.048885	429.0	0.049976	0.04724	0.049431	402.0	420.7
秋田	603.4	0.067331	517.8	0.061365	522.9	0.059119	481.3	0.056068	0.060971	0.057593	518.9	490.1
山形	399.6	0.044588	364.2	0.043161	450.2	0.050897	368.0	0.042873	0.045379	0.046885	386.2	399.0
福島	384.4	0.042896	384.3	0.045545	443.6	0.050149	368.8	0.042959	0.045387	0.046554	386.2	396.2
茨城	392.2	0.043763	376.3	0.044597	399.7	0.045188	353.1	0.041134	0.04367	0.043161	371.6	367.3
栃木	381.5	0.042575	336.9	0.03992	358.1	0.040481	326.2	0.038001	0.040244	0.039241	342.5	333.9
群馬	99.5	0.011103	85.6	0.010142	89.0	0.010065	90.8	0.010575	0.010471	0.01032	89.1	87.8
埼玉	168.0	0.017321	174.9	0.020732	170.2	0.019237	184.6	0.021502	0.020053	0.02037	170.7	173.3
千葉	304.6	0.033993	295.2	0.034987	104.5	0.011813	271.7	0.031651	0.028111	0.021732	239.2	184.9
東京	1.0	0.000117	1.1	0.00013	1.0	0.000115	1.3	0.000147	0.000127	0.000131	1.1	1.1
神奈川	15.4	0.001716	16.9	0.001997	16.1	0.00182	17.5	0.002034	0.001892	0.001927	16.1	16.4
新潟	639.4	0.071353	603.7	0.071541	653.5	0.073883	559.3	0.065151	0.070482	0.069517	599.8	591.6
富山	233.2	0.026019	194.7	0.023075	235.8	0.026655	195.8	0.022816	0.024641	0.024735	209.7	210.5
石川	140.9	0.015724	142.1	0.016843	146.3	0.016536	125.7	0.014641	0.015936	0.015588	135.6	132.7
福井	145.3	0.016218	145.3	0.017215	161.3	0.018236	133.7	0.01558	0.016813	0.016908	143.1	143.9
山梨	30.9	0.003451	29.3	0.003473	31.2	0.003528	31.5	0.003668	0.00353	0.003598	30.0	30.6
長野	222.8	0.024863	219.3	0.025984	236.7	0.026756	208.1	0.024248	0.025463	0.025502	216.7	217.0
岐阜	131.6	0.014687	130.6	0.015482	127.4	0.014407	142.2	0.01656	0.015284	0.015484	130.1	131.8
静岡	95.5	0.010653	92.9	0.011006	96.6	0.010917	92.3	0.01075	0.010832	0.010834	92.2	92.2
愛知	155.2	0.017321	153.0	0.018127	156.4	0.017679	153.6	0.017889	0.017754	0.017784	151.1	151.3
三重	166.3	0.01856	163.2	0.019338	163.4	0.018469	149.3	0.01739	0.018439	0.017929	156.9	152.6
滋賀	169.7	0.018934	191.1	0.022645	186.9	0.021131	176.6	0.020576	0.020821	0.020853	177.2	177.5
京都	86.5	0.009651	85.9	0.010182	86.5	0.00978	86.0	0.010013	0.009906	0.009896	84.3	84.2
大阪	29.8	0.003325	29.9	0.003542	30.1	0.003406	30.8	0.003589	0.003466	0.003498	29.5	29.8
兵庫	227.8	0.025417	207.0	0.024532	211.2	0.023882	190.9	0.022241	0.024018	0.023061	204.4	196.3
奈良	49.3	0.005504	47.4	0.005621	47.3	0.005345	48.6	0.00566	0.005533	0.005503	47.1	46.8
和歌山	39.6	0.004421	39.6	0.004693	39.6	0.004475	39.8	0.004634	0.004556	0.004555	38.8	38.8
鳥取	77.7	0.008667	75.8	0.008988	79.0	0.008934	74.7	0.008708	0.008824	0.008821	75.1	75.1
島根	106.8	0.011918	102.8	0.01218	107.1	0.01211	107.5	0.012518	0.012181	0.012314	103.7	104.8
岡山	187.5	0.020922	176.3	0.020894	174.5	0.019725	190.6	0.022205	0.020936	0.020965	178.2	178.4
広島	152.6	0.01703	139.2	0.01649	147.0	0.016614	144.0	0.016771	0.016726	0.016693	142.3	142.1
山口	124.1	0.013845	130.4	0.015448	128.3	0.014506	132.1	0.015385	0.014796	0.014946	125.9	127.2
徳島	67.0	0.007471	66.6	0.007897	68.5	0.007748	63.3	0.00738	0.007624	0.007564	64.9	64.4
香川	75.3	0.008404	78.3	0.009277	75.6	0.008546	80.8	0.00941	0.008909	0.008978	75.8	76.4
愛媛	86.2	0.009618	84.6	0.010022	82.9	0.009373	83.3	0.009704	0.009679	0.009538	82.4	81.2
高知	57.4	0.006404	58.1	0.006888	65.6	0.007411	54.5	0.006351	0.006764	0.006881	57.6	58.6
福岡	193.7	0.021613	205.8	0.024384	192.3	0.021741	225.4	0.026256	0.023498	0.023999	200.0	204.2
佐賀	147.3	0.016439	138.7	0.016431	168.1	0.019008	180.1	0.020977	0.018214	0.019993	155.0	170.1
長崎	74.2	0.008282	71.2	0.00844	70.8	0.008009	67.2	0.007833	0.008141	0.007921	69.3	67.4
熊本	198.3	0.022134	220.6	0.026144	219.5	0.02482	212.8	0.024786	0.024471	0.024803	208.2	211.1
大分	133.5	0.014893	135.6	0.016072	135.8	0.015354	133.3	0.015528	0.015462	0.015441	131.6	131.4
宮崎	104.8	0.011692	116.7	0.013828	102.4	0.011574	106.4	0.01239	0.012371	0.011982	105.3	102.0
鹿児島	129.5	0.014452	131.8	0.015613	130.0	0.014697	126.6	0.014743	0.014876	0.01472	126.6	125.3
沖縄	3.7	0.000416	3.7	0.000434	3.4	0.000385	3.2	0.000377	0.000403	0.000381	3.4	3.2
	8,961.3	1.0	8,438.5	1	8,845.5	1	8,583.9	1	1	1	8,510	8,510

平成 17 年産米の都道府県別の生産目標数量の設定の考え方等について

(○ ○ ○)

- 1 各都道府県産米の需要見通しの算定に当たって、
(1) 平成 15 年産米の需要実績の扱いをどうすべきか。
①地域別に作柄が大きく異なることをどう考えるか。

各都道府県の作況指数が 53～105 と大きく差があることを踏まえると、公平性を保つため、何らかの補正措置を講じる必要がある。

- ②政府備蓄米販売数量の増加により、古米の需要実績の割合が高いことをどう考えるか。

政府米も各都道府県産米であることに変わりがないことから、本来は需要実績に含めるべきであるが、15 年に放出された政府米は旧制度の仕組みのもとで買入れられたものであり、必ずしも市場が求める「売れる米」とは言えない面がある。このため、15 年産米については需要実績に含めない方が適当と考える。

- (2) (1)を踏まえて、各都道府県産米の需要予測をどのようにして算定すべきか。

平成 16 年産米の算定と同様に、豊作・不作分を平年作ベースに補正することを基本とするが、作柄が安定していることも売れる米づくりを進めていく上での産地の備えるべき条件として重要であること等を勘案すると、100%平年作に補正するのではなく、一定割合を定めて補正を行うことも検討の余地がある。

政府米販売実績分は 15 年産米の需要実績から控除して算定を行う。

この場合、15 年産需要実績から控除する 16 年 6 月末在庫数量については、当該数量中に含まれると想定される政府米相当数量分をあらかじめ控除するものとする。

- 2 需要に応じた生産を促進するに当たって留意すべきと考えられる事項等

平成 17 年産米の都道府県別の生産目標数量の設定の考え方等について

1 各都道府県産米の需要見通しの算定に当たって、平成 15 年産米の需要実績の扱い及び各都道府県産米の需要予測をどのようにして算定すべきか。

平成 16 年産米の配分については、需要以外の要素による補正を加えた配分を行ったわけだが、平成 17 年産米からは、客観的な需要予測を基礎に、需要に応じた生産を促進する手法で算定する方針が事前に示されており、各県ではこうした方針を前提に生産・販売に取り組んで来ている。

作柄の安定度は、米の安定供給を図るうえでも生産目標数量配分の重要な要素と考えられる。本県では、米の安定供給のため、気象変動の激しい年でも安定した生産量、品質を確保するため栽培技術の向上に努めてきており、今後とも消費者への米の継続的な安定供給を図るため、収量・品質等の安定度の高い産地への作付誘導を図ることが望まれる。

配分の透明性確保のためにも、需要実績に応じた配分を行うことが適切と考えられる。

政府備蓄米の販売数量の増加、古米ブレンド米等低価格米の販売増加により、15 年産米の販売数量が減少しており、総体では需要を反映した販売状況となっていると考えられる。

このため需要予測は、政府米販売数量を含めた需要実績により算定するのが適切と考える。

2 需要に応じた生産を促進するに当たって留意すべきと考えられる事項等

政府米を含めた販売実績を需要実績として、生産目標数量配分の基本とし、これに収量・品質の安定性、食味の安定度等を勘案して適地適産の配分を行うことにより、消費者が求める銘柄、産地を中心とする生産体制が形成されることが考えられる。

また、全生産者による集荷円滑化対策の確実な実施を徹底するとともに、需要・消費拡大対策の継続が望まれる。